

市長選でも話題のホームレス対策

中には随分なことを言っている候補も！

皆もよく知っているように、釜ヶ崎支援機構では、選挙がある時期には投票に行くように呼びかけている。いつも書いていることだが、萩之茶屋投票区は、西成区で最大の票田である。だが投票率はかなり低い。その原因は、単身男性の投票率にあることは明らかだ。ようするに、日雇労働で働く仲間や野宿を余儀なくされている仲間が、投票に行けていないと言うこと。

その弊害は、この街で多数派であるのに、声があまり取り上げられにくいと言うことに現われている。「政治家」はどうしても、自己の当選に結びつく人々、投票行動を常におこなう人々を重視する。政治家がそうなら行政もそうなる。

街の多数派の声それぞれにふさわしい扱いを受けるようになるための一つの方策として、投票率を上げる必要がある。(勿論、投票するだけでなにもかもうまくいくわけではない。)

裏面に、毎日新聞が立候補者に出した質問の回答を掲載したものの一部を転載してある。ホームレス問題、景気・雇用問題についてのものだ。中には随分な回答もある。公職への立候補者は言いたい放題、その発言をけしからぬと選挙期間中に追求してまわることは選挙妨害になるらしいから今は何ともしがたいが、こういう声を封じるためにも投票率アップを。

◆路上生活者に就労訓練
タイ国軍が、首都バンコクで路上生活を送っていた人の社会復帰を支援するため、就労訓練を実施している。タイ紙「プチャカーン」が伝えた。訓練は計13週間。うち3週を本格的な訓練に入る準備に、2週を社会生活に戻る助走期間にあてる。対象者約320人が、タイ式マッサージ、タイ料理、理髪などの技術を習得する訓練プログラムを軍施設2か所で受講中という。軍当局者によると、路上生活で心身のバランスを崩している人が多いため、めい想や朝の運動も導入。規律を重視する軍施設内で生活習慣の改善を進める点が特徴というが、「訓練を終えても職や生活資金がなければ、社会復帰するのは難しい」と指摘する声もある。(バンコク支局)

第二の人生

▲2003年11月12日読売新聞・夕刊より転載

- * 酒気帯び就労は厳禁です。「酒」の匂いがすれば就労できません。
- * 生活保護受給者(居宅保護・施設入所・入院)は就労できません。

11月30日(日)大阪市長選挙の投票日

投票にこう！

11月9日に、衆議院議員選挙が終わったばかりですが、11月30日は大阪市長選挙の投票日です。

市会議員・府会議員選挙の時は、それなりに候補者が釜ヶ崎の中に入ってこられたので、投票率が若干上がりました。

衆議院選挙では、立候補者がほとんど区内に入ってこられなかったせいか、萩之茶屋投票区の投票率は、本当に微増にとどまりました(下がらなかつただけたいしたものだと思います)。

市長選挙では、立候補者が釜ヶ崎にくることは、ありそうにありませんが、左の回答を参考に、是非とも投票に行きましょう。野宿していても、住民票の所在がはっきりしていれば、投票することができます。投票率の上昇は、「仕事よこせ」実現の後押しの一助となります。

投票区名	2003市議選		2003衆議院選(小)	
	有権者数	投票率	有権者数	投票率
弘治	4,838	55.42	4,855	55.96
長橋	5,059	68.20	5,118	65.83
萩之茶屋	18,000	26.01	18,206	26.12
今宮	8,012	48.32	8,181	50.14
津守	2,458	59.68	2,446	58.95
北津守	2,348	70.83	2,326	67.54
天下茶屋	8,409	55.05	8,353	56.67
合計	106,073	49.75	106,831	50.54

03 大阪市長選

質問

国内最大のホームレス問題や全国より高い失業率など、景気・雇用問題にどう対処するか。



渡辺 武候補

既存の中小企業への支援、融資制度の改善、支援センターの創設や区役所に経営相談の部門を設置するなど、中小企業予算の増額。ホームレスの人たちへの就労支援、若者の雇用確保のため職業訓練・補助金などの特別対策



小谷豪純候補

この現状なら、ホームレス天国大阪は、全国の2分の1のホームレスが集まるのは時間の問題でしょう。それを防ぐには、断固として大阪市の不法に占拠しているブルーシートを撤去の上、一般市民の生活を守ります



中川暢三候補

ホームレス問題は行政の無為無策の象徴でもある。財政出動よりも投資優遇、固定資産税非課税、市民税還付、規制緩和などで景気回復を促しつつ、公共サービスの多くを民間に開放し、特に環境、リサイクル関連産業での雇用を拡大する



関 淳一候補

新産業の創造や中小企業の競争力強化等による経済の活性化を図り、今後4年間で5万人の雇用創出を目指します。また「ホームレス支援協議会」を設置し、自立支援センターの定員を大幅に増やすなど、ホームレスの自立を支援します



羽柴秀吉候補

野宿生活者に対して、再教育、訓練施設を整備提供し、自立できるよう指導していく。大阪の再生は中小企業の元気にかかっている。中小企業の設備、技術開発、経営改善等に対し、助成金、補助金等、行政が手助けする制度を確立します

任期満了に伴い30日に投票される大阪市長選には無所属の新人5人が立候補した。
市が抱える課題について、各候補の考えを聞いた。
(届け出順)

候補者アンケート